

(令和4)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市上高野)児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子ども基本育成活動	(2)遊びの教室活動															
	チャレンジ(けん玉・お手玉)	17	0	2	581	1	137	0	0	0	0	0	721	夏休みの間、けん玉、お手玉を学年に分かれて練習や検定を行う。	チャレンジ期間中から、自由時間にも自主的にけん玉お手玉で遊ぶ姿を見ることができた。コロナの規制もゆるくなっている中で発表会形式の見せ場があってもよい。	
	夏の工作	4	0	0	56	0	12	0	0	0	0	0	68	毛糸を用いて作品を制作する	夏休み中であり取り組む時間が多かったため、集中して取り組んでいた。	
	冬の工作	5	7	11	58	9	7	0	5	0	0	0	97	好きな形のアイロンビーズ作りを行う。	アイロンビーズ作りが人気で、今年度も実施。予算の都合上、一人一作品となったが、子どもたちは集中して取り組んでいた。一般児童が集中する初日等は補助の職員が必要。	
	(3)行事活動															
	館内卓球大会	1	0	0	16	0	2	0	0	0	0	0	18	申し込み制で、卓球のトーナメントを行う。1,2年生の部と3年生以上の部で分けて上位入賞者に表彰状を渡した。	日頃から遊んでいる卓球をトーナメント方式の大会として行った。また普段卓球をしない子どもも経験できる機会を作った。しかし、遊びの中で独自ルールが作られがちなので、大会に合わせたルールの周知を行う必要がある。	
	館内将棋大会	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	申し込み制で、卓球のトーナメントを行う。優勝者には京都子ども将棋大会に参加した。	本将棋ができる子が少なく、寂しい大会となった。将棋クラブにて、本将棋ができる子を増やしていく。	
百人一首練習・大会	4	0	41	0	6	0	0	0	0	0	0	47	学年別に部屋に分かれ百人一首の札を取れた枚数が多かった学年別上位入賞者を表彰。	今年度は百人一首を覚えるために暗記カードを作り、希望する子どもに配布をした。暗記をしては忘れるを繰り返していたが、「この札覚えたことある！」と自信に繋がっていた。次年度はより多くの子どもが興味をもってくれるように進化させる。		

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子ども育成機能	かまぼこおとし練習・大会	4	0	0	42	1	16	0	0	0	0	0	59	学年別に2チームに分かれ、かまぼこ落としを行う。	かまぼこ落としはチーム戦のため、年度初めの子どもたちが交流を深めるのに最適な遊びである。しかし、トラブルが起きた際に進行が止まってしまうため、審判の大人がもう一人必要である。
	大掃除	2	0	0	65	3	14	0	0	0	0	0	82	館内の室内や玩具等を、来館している児童全員で清掃を行う。	各部屋の拭き掃除や本、玩具など、日頃自分たちで使っている物の掃除を行えた。窓を拭くためのスプレーなど、必要な小道具を揃えておくべき。
	こま月間・長回し大会	3	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	35	こまのまわった時間を計測。学年別に上位入賞者を表彰。	参加した子どもは好タイムを目指し取り組んでいた。大会期間中、計測は1日2回までの回数制限をしたことで公平性も保てたと思う。
	(4)クラブ活動														
	将棋クラブ	16	0	10	162	1	28	0	0	0	0	0	201	職員が先生となり将棋を教えていた。何度も対局することにより、将棋バッジがもらえる。	動物将棋から、本将棋に移行があまりできずに動物将棋メインとなってしまっていた。もっと本将棋ができる子を増やしていきたい。
	フレンド	22	0	0	0	90	59	4	0	0	0	0	153	4年生以上を対象にした高学年クラブ。参加メンバーで1年間の予定をたてて協力しながら高学年としての自覚を持ち取り組む。	コロナウイルス感染症の中でも対策をしつつ自分たちで考えた企画を成功させられた。3年ぶりに近所の公園ではあるものの遠足も行えたため、感染対策と上手に付き合いながらできることを増やしてあげたい。
	きりえクラブ	32	0	15	141	6	32	0	0	0	0	0	194	2年生以上対象のクラブ。作品を仕上げていくことで級が上がり、より難しい作品に取り組むことができる。年度末には成果の発表として作品展を実施。	カッターの使い方を学びながら多くの作品を仕上げることができた。作品展を行ったことで保護者の方などに活動を見てもらうことができた。
	かみスポ	7	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	4年生以上を対象にしたスポーツクラブ。内容は当日集まった児童で決めて、ドッジボールやソフトボールなどを行う。	一般来館の参加者が少なく、学童の高学年のみの日が多くなってしまっていた。今年度で取り組みを終了とする。

	活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
子ども 育成 活動 基 本 機 能	(5)地域間交流促進活動															
	左京・東山児童館学童 保育所まつり	1	0	0	8	0	1	0	0	0	0	0	9	左京区・東山区の児童館・学童保育所や地域の団体による、宝ヶ池子どもたちの楽園にてコーナーやステージ発表を行う。	コロナ禍の中での数少ない館外活動だったため、参加した子どもたちはまつりを楽しんでいた。	
	なかよし卓球大会	1	0	0	6	0	1	0	0	0	0	0	7	左京・東山の児童館や学童保育所が集い、交流を目的として低学年、高学年に分かれ、対戦を行う。入賞者は表彰。	遊びとして取り入れている分、実力のある子どもが多い。今大会では感染対策で、保護者の応援不可・声援を送れない等の制約があったが、気合を入れて試合に臨んでいた。サーブの高さ等、基本的なところをしっかりと伝えていくとよい。	
	上高野ふれあいまつり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	上高野小学校で行われる、上高野地域に住む方が世代を超えて交流するお祭り。今年度はPTAが中心となり規模を縮小して実施された。	児童館・学童からの参加・引率はなし。	
	京都やんちゃフェスタweb	1	0	0	0	5	4	0	0	0	0	0	9	京都市の児童館・学童保育所の魅力や活動内容を広く市民の皆様にPRすることを目的として動画を配信。	今年度は子どもたちが企画・準備をし、職員は撮影を手伝った。舞台での発表がない今、子どもたちの活動を館外の人たちに知ってもらえる良い機会である。ドミノ等、運次第で長くなりがちな撮影は子どもの士気に関わるため、上手く誘導できるとよい。	
	左京子どもふれあい カーニバル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	左京区で活動する各団体などによる、様々な催しを行う。	コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	
	ブロックドッジボール大会	1	0	0	42	1	3	0	0	0	0	0	46	左京区・東山区の児童館・学童保育所が集まり、ドッジボール大会を行う。	練習が数多くこなせず、ルールの把握やチームとしての成熟度が足りなかった。	
	(7)思春期児童の活動支援															
	中学生タイム	12	0	0	0	0	0	48	0	0	0	0	48	職員との話や卓球を行い交流を行った。	放課後の遊び場や話す場所として児童館を活用してくれていた。メンバーが固定されていて、様々な子に来てもらいたい。	
	中学生と赤ちゃんとの交流	1	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	5	中学生と赤ちゃんの交流の広場として開催。終わりには学生に絵本を読んで貰った。	中学生の確保が部活等や保育系の内容に気後れしまっていた。児童館単体で行うことに限界を感じており、中高に依頼を出す等の工夫が必要。	
合 計	135	9	80	1215	123	339	52	6	0	0	0	1824				

	活動名	実施回数	参加人数											内容	成果と課題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計			
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
子ども育成機能	(9)地域を知る活動															
	避難訓練(不審者・地震・火災・水害)	4	10	1	46	0	6	0	11	0	0	0	74	不審者対応について下鴨警察署の警察官の方からお話を聞き対応の仕方を学ぶ。災害や緊急時の避難について、左京消防署と連携をとり、実際に避難をしたり消火をする予行練習を実施。	実際に警察の方に不審者役になってもらい、職員が対応を行う。訓練の中で都度注意点を話して下さり勉強になった。	
	念佛供養踊り教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	念佛供養踊りの起源となる理由の紙芝居を読み聞かせ、念佛供養踊り保存会による、念佛供養踊りの指導。	コロナウイルス感染拡大予防により中止。	
	合計	4	10	1	46	0	6	0	11	0	0	0	74			
子ども育成機能 合計		139	19	81	1261	123	345	52	17	0	0	0	1898			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和4) 年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市上高野) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動														
	①乳幼児クラブ活動														
	ぼこぼこ広場	28	157	0	0	0	0	0	153	0	0	0	310	乳幼児親子対象の登録制クラブ。前半は大型遊具等での自由遊び。後半は職員による手遊びや季節の歌、リズム遊び、絵本の読み聞かせを行う。	大形遊具もでて楽しみにしてくれている声も多く浸透してきている。来年度は週替わりで大型遊具を出してはびはびとは違う特別感を協調していく。
	きらきらクラブ	29	110	0	0	0	0	0	106	0	0	0	216	1歳半以上対象の登録制クラブ。手遊び、絵本読みを行い、季節の行事、工作、様々な遊びを行う。	同世代の子を持つ親同士が活動を通じてつながりを持つことができた。来年度に向けて登録説明会も行い、より多くの人に幼児クラブを知ってもらえるように周知をしていく。
	びよびよクラブ	15	79	0	0	0	0	0	80	0	0	0	159	1歳前後対象のクラブ。お母さん同士の交流を図り、玩具・アルバム作りなどを行う。	年8回の講座形式だったものを今年度からクラブ形式にした。年間を通してアルバム作りなどに取り組んだが、作業量が職員・保護者共に多く変える必要がある。また、外部講師などは呼ばなかったので乳児さん向けの子育て講座を検討しても良い。
	②乳幼児の広場活動														
	はびはび	64	229	0	0	0	0	0	213	0	0	0	442	乳幼児親子対象のひろば。自由遊びと職員による絵本の読み聞かせや手遊びを行う。	行きたいと思った時にふらっと来館できる場になっている。ぼこぼことの差があまりなく、どのよう に差別化をしていくか考える必要がある。
	ママヨガ	10	45	0	0	0	0	0	65	0	0	0	110	講師を招き、乳幼児親子と女性対象に実施。色々な道具を使って身体を動かした。	講師の先生中心にリラックスして体を動かしたり、悩み相談ができる場所になっている。次年度は年間を通して取組日を決定している。乳幼児親子に限らず、小学生向けヨガ等、活動の幅を広げることも検討中。
	ベビーマッサージ	7	14	0	0	0	0	0	14	0	0	0	28	乳児とその保護者を対象に実施。オイルを使ったマッサージを通し、親子の向き合う時間をつくり、愛情を深める。	ベビーマッサージの参加が初めての児童館の利用という方も多く、きっかけづくりになった。授乳スペースの設置など、参加者への配慮も行った。
	親子で楽しも!	11	41	0	0	0	0	0	44	0	0	0	85	工作、季節に合った行事を実施。	登録制でのクラブではなく、気になる物に自由に参加できていた。内容により参加人数に大きく差があり、どの活動にも多くの参加者が集まるよう、工夫が必要。
ちょっときいてこんなコト	1	12	0	0	0	0	0	12	0	0	0	24	ぼこぼこに保育士さんが入り、相談や様子を見てのアドバイスを行った。広場後には、参加者の様子を共有したり、地域の近況を話し合いを行う。	はなまる広場の代わりとして実施。参加者一組ずつにアンケートを取り、回答してくださった。来年度は定期的実施していきたい。	

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題			
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計		
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人					
子 ど も	2) 家族参加を促す活動																
	秋のわくわくフェスティバル	1	22	0	0	0	0	0	23	0	0	0	45	上野野小学校のふれあいサロンを借りて、講師に子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽさんをお招きし親子で遊びをまわる。(手形足形アート・ヨガ・SMILE ALBUM・ハンドトリートメント)	前年度の反省を活かし、行うことにより今年度はスムーズに行う事ができ良かった。初めて児童館に来られる方もおられ、来館のきっかけにつながった。また、前年度に引き続き来てくださる方もいたため、はじめのいっぽさんと協力して、恒例の行事にしていきたい。		
家 庭 支 援 活 動	合 計	166	709	0	0	0	0	0	710	0	0	0	1419				
	(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等	件数			
		乳児	3	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }				16	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			8	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }				
		幼児	4					1				7					
		小1～3年 (自由来館)	9									1					
		小1～3年 (学童)	9									7					
	小4～6年 (自由来館)	0						1									
	小4～6年 (学童)	0		1													
	中学生																
	高校生																
		件数 計															
	(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題						
		子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽ	3人	子育て世代のお母さんを支援することを目的に、様々な内容の支援活動を行っている				0～18歳のお子様を持つ、お母さんの支援			参加人数が少なかったり、参加する親子が基本的に決まっていたりするため、来年度は広報などを考え周知していく。						
	(5) 子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題									

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和4)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市上高野)児童館

		活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合 計	
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
地 域 福 祉 促 進 機 能	(1)地域住民との交流を促進する活動	上高野子育てほっとサロン	10	上高野児童館 上高野学区民生児童委員協議会	108	0	0	0	0	0	115	223	上高野学区社会福祉協議会 上高野学区民生児童委員協議会	民生児童委員さんと保護者のつながりが強く民生さんが来るからと来てくださる人もいられた。職員も参加し、手遊びやエプロンシアターを行った。	
		お年寄りに感謝を送ろう	1	上高野児童館 上高野学区社会福祉協議会	0	0	255	2	48	0	5	0	上高野学区社会福祉協議会	地域の方にプレゼントを渡し、地域の方に児童館を知ってもらえた。作る数が多く、作ることに時間がかかった。だが、クオリティと時間を考えると何を作るか難しい。	
		上高野念仏供養踊り保存会	1	上高野児童館 上高野念仏供養踊り保存会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	上高野念仏供養踊り保存会	上高野地域の亡くなられた方を供養するための会。コロナウイルス感染拡大防止のために館長のみ参加。
		上高野ふれあいまつり	0	ふれあい土曜塾推進委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	上高野小学校 ふれあい土曜塾推進委員会 上高野自治会	児童館の遊戯室を貸し、保護者会の方がかまぼこ落としのコーナー展開をする。児童館の宣伝となった。
		桜コンサート	1	ふれあい土曜塾推進委員会	0	0	18	1	0	0	0	0	19	上高野小学校 ふれあい土曜塾推進委員会	久しぶりの発表の場を頂き、子どもたちにとって良い経験となった。
		伝承遊び	0	上高野児童館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	上高野学区民生児童委員協議会 今日行く会	コロナウイルス感染拡大予防により中止となった。
		合 計	13	—	108	0	273	3	48	0	120	242			

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題
				中 高 生	大 学 生	大 人	合 計	
				0	0	0	0	
	(2) ボランティア活動の推進		合 計	0	0	0	0	
		連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題				
	(3) 地域との連携を促進する活動	上高野学区社会福祉協議会 上高野学区民生児童委員協議会	上高野子育てほっとサロン、おたよりの配布	地域の情報を交換すると同時に、行事の進行を行ってくださった。地域の幼児さんの家にじどうかんだよりを渡して下さり、児童館のことを地域に周知、館利用につながった。				
		左京区役所保健福祉センター 子どもはぐみ室	ちょっときてこんなコト	はなまる広場の代わりとして実施。参加者一組ずつにアンケートを取り、回答してくださった。来年度は定期的の実施していきたい。				
		子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽ	はじめのひろば、SMILE ALBUM、ハレバレ	コーチングがなくなり、手形足形アートのハレバレが活動を開始する。年度途中から参加費も無料となり、活動参加に向けたハードルも低くなった。				
		上高野小学校	学年別懇談会、情報交換、たよりの交換 外遊び時の運動場の使用、児童館行事への参加	情報を交換することにより、連携がとりやすく、児童館以外の様子も知ることができる。運動場や体育館やふれあいサロンを利用させてもらうことで、児童館の行事の幅も広がった。				

地域福祉	基本活動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度	議題/取組内容	成果と課題
			上高野地域子育て支援ステーション事業 ネットワーク会議		上高野学区社会福祉協議会 上高野民生児童委員協議会 上高野民生児童委員協議会主児童委員 葵保育園 菊の花幼稚園 京都きらら幼稚園 京都市左京区役所保健福祉センター こどもはぐくみ室 京都市立上高野小学校 京都市上高野児童館		1	事業内容確認・情報共有	今年度はコロナ禍で十分な打ち合わせができなかったが、次年度はつながりを深めていきたい。
促進機能	推進活動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先 (団体・機関等)	成果と課題	
			遊戯室、創作活動室		打ち合わせ、はじめのひろば、ハレバレ		子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽ	気軽に利用していただける関係性になってきている。はじめのいっぽさんとこちらの予定を考えて、地域・児童館にとってより良い物を計画していく。	
	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題			
	(6) 地域調査活動								

(令和4)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市上高野)児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報	じどうかんだより	月1回	上高野小学校在校生、自治会役員 左京保健センター、 地域住民、主任児童委員 京都市社会福祉協会所属児童館、 左京区児童館学童保育所、 フレスコ(近隣スーパー)、 岩倉図書館、左京図書館、 きらら幼稚園、菊の花幼稚園、 葵保育園	小学校にとどけて配布を依頼 配架依頼 回覧依頼または手渡し メールにて回覧依頼 回覧 配架依頼 配架依頼 手渡し 手渡し	月ごとの予定や行事について	自館の取り組みについて、知ってもらうことが出来た。また、幼稚園側からも計を頼まれることがあり、お互いに情報交換するきっかけとなった。
	各種行事ポスター、チラシ	行事ごと	上高野小学校在校生 児童館来訪者	児童館で配布 児童館前にて掲示		児童館の行事を知ってもらうことができた。
	学童クラブだより	月1回	学童クラブ家庭 上高野小学校職員	学童クラブ家庭に配布 上高野小学校職員に配布	月ごとの予定や行事、おやつについて 館長からのことば、職員からの言葉 お知らせやお願い等	児童館の様子や児童館での行事を小学校の職員に知ってもらうことができた。
活 動						